

## 防水工事従事者の経験をふまえて 排水管凍結防止装置を自社開発

株式会社ヨシダアニー

建築物でしばしば悩まされるのが雨漏りや原因不明の漏水。寒冷地では冬期の排水管の凍結がそれらに拍車をかけることも少なくない。既存の対策製品は機能的に不完全なものが多いことから、“防水のプロ”がメンツにかけて高機能凍結防止装置を自社開発。将来は海外への販売も目指す。

### 寒冷地の建物排水管の凍結に着目

株式会社ヨシダアニーの吉田喜廣社長は防水施工1級技能士の肩書を持つ防水のプロ。大学を出てから10年ほど東京で防水の仕事に携わり、秋田に戻って今の会社を起業して四半世紀余りになる。雨漏りの原因を突き止める専門家は日本では少なく、雨漏り調査の依頼も数多く手がけている。

従来は雨漏り予防、雨漏り補修、その延長線上のリフォーム工事の仕事が多かったが、それらの仕事を続けながら感じたのは、寒冷地で建物の外壁を伝う排水管の凍結事例が多く、それを予防するために設置したローブ状のヒーターも故障が多くて機能していないことが少なくないという現実だった。

### 既存品に代わる高機能製品を開発

故障の多い従来製品に代わるものを自分で創り出そうと思い立ち、平成16年に排水管の最下部に装着する筒状のヒーター「ほあかん」の開発に着手した。従来型ヒーターよりも格段に省電力ながら機能面でも信頼性が高く故障もしないという、完成形に近い装置になっている。

翌17年には実用新案を取得、東北を中心にこれまでに3000台余りにのぼる納入実績が、市場の高い評価を物語っている。

「当社は外仕事が多いので冬になると仕事が減ります。そこで、『ほあかん』については、パーツの製造を外注して組み立てを社内でやることで冬場の仕事を生み出すという思惑もありました」(吉田社長)

### 次期製品も準備、将来は欧米にも

現在は産学官の連携で「ほあかん」に続く第二弾の排水管凍結防止装置の研究開発中。特殊形状のポリカーボネート成型品を排水管の中に通し、流体力学の応用で電力等は一切使わずに凍結を防止するという新発想の装置。特許は取得したが実証実験の継続中で、今はまだ詳細な写真は見せられないと言う。この研究開発にあきた企業応援ファンドを利用して、開発コストの3分の1に充てている。



防水のプロとしての永年の実績を生かして「ほあかん」を独自開発した吉田喜廣社長。製品はパーツ製造を外注し、自社工場で組み立てて出荷している。

### 株式会社ヨシダアニー

〒010-1605 秋田県秋田市新屋勝平町13-23

Tel. 018-864-6961

Fax.018-864-6992

<http://www.y-anny.jp/>

E-mail [anny@akita.email.ne.jp](mailto:anny@akita.email.ne.jp)



自社開発製品のパンフレット。(写真上)  
排水管凍結防止用ヒーターの決定版として自社開発した「ほあかん」。(写真中)  
社屋外観(写真下)

来春までには販売体制を整える予定で、将来的には「ほあかん」と開発中製品の2本立てでヨーロッパや北米などにも売り込んでいく構想でいる。



電気を使わない新発想の排水管凍結防止装置を自社社屋で実証実験中。(構造は現時点では非公開)